

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいの家 百道

作成日 令和元年6月13日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	家族の参加が多く、家族中心の運営推進会議になっているため、地域からの参加委員の増員を図り、ホームの運営や取り組みの報告だけではなく、参加委員の各立場からの意見や提案、困り事等について意見交換を行い、ホーム運営や地域貢献に取り組んでいく。	地域代表や民生委員、出入りのボランティアや保育園の園長、交番の警察官、訪問歯科医や歯科衛生士等、幅広く参加委員を募り、勉強会実施したり、議題を工夫していく。また、会議の中で、ホームの課題や地域の困り事について意見交換を行い、地域福祉の拠点としての役割を担っていく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回、避難訓練を行っているが、グループホームが2階、3階に位置していることから、特に夜間帯の職員の動きについて繰り返し確認し、2階9名、3階9名の利用者が安全に避難できる体制を整えていく。	利用者を巻き込まずに職員同士で行う夜間想定避難訓練を繰り返し行い、夜勤者が自信を持って勤務できる体制作りに取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。